千年の森便り No.161

2016.12. 13

ちば千年の森をつくる会

http://toyofusajima.html.xdomain.jp/

事務局長　伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

12月4日（日）晴

12月4日の定例活動日の参加者は、秋元、新井通子、伊藤、鵜沢、成沢、根元、福島、山口の８名でした。朝いちばん全員でニホンジカ調査、続いて巨木林調査を行いました。午後はホテイ岬の整備や植物の調査など、青空と紅葉の下で各々精を出していました。
参加下さった皆さん、お疲れさまでした。（成沢）

○ニホンジカ生息状況調査

調査の打合せ

今年４回目のニホンジカ生息状況調査を行いました。前回に引き続き、今回も参加者８名と少数でしたが、いつものように７コースに分かれて島内を踏査しました。調査時間は 10:00 から約 30 分です。今回も目撃や足音、声の確認はありませんでしたが、入り江付近に比較的新しいフンが見つかりましたので、この時期もシカは島を利用しているようです。
【番外】成沢、福島の２名が入り江近くでイタチを目撃しました。（福島）

○巨木林調査

調査の様子

午前中に、秋元、鵜沢、成沢、根本、山口、福島の 6 名で、シカ食害防護柵（20m×20m）に囲まれた巨木林の成長調査を行いました。測定したのは胸高位置の幹周り（胸高周囲長）です。調査を始めた 2008 年と比べると、調査本数が 70 本から 62 本に減少しました。これは主に大きな個体の被圧により小さな個体が枯れたものです。また、胸高周囲長が最も増加したのはモミで、40cm から 60cm になり、20cm 増加していました。10cm 以上増加した個体は全部で 11 個体あり、樹種は、コナラ、モミ、サクラ類でした。（福島）

○ホテイ岬の整備

整備作業の様子

先月に続きホテイ岬の枯れ竹、倒木の整理をしました。湖面や対岸のもみじがきれいに見えるようになりました。ホテイチク林は筍の食害が少なかったせいか、本数が増えているようです。ホテイ岬の整備は今後とも継続します。スズメバチの巣は除去しました。安心してください。（根本）

〇シイタケ栽培の今後の予定

先月伐採したコナラはまだ日が浅く葉枯らしが不十分のため、計画していた玉切り作業は中止しました。今後の予定として３月に原木栽培用に玉切り、種菌の駒打ちを行います。種菌の種類や個数など相談させてください。仮伏せは伐採した周辺の常緑樹の下あたりを予定しています。（根本）

〇晩秋～初冬のギャップ更新区

林内の様子

メッシュ内にワサワサと茂っていた落葉樹達や下草達がすっかりやせ細り、なんとなく広くなったような寂しくなったような感じがしました。最後の花を見せてくれているリュウノウギク、リンドウ、キヨスミギク。もうドライフラワーになってしまったオケラ、メリケンカルカヤ。樹高 20 ㎝程のコマユミや 10 ㎝程のイロハモミジの紅葉の鮮やかさ。まだ強い緑色の状態に赤色が混ざって黒っぽい紫色になったゴンズイの紅葉。足元には何処からか飛んできたアズキナシの実が、、、。

広場近くにはシロダモが地味なかわいい花を見せてくれましたし、クロモジは黄葉と新芽が同時進行していました。ツチアケビは虫も鳥も寄せ付けず(？)に、この時期になっても凛とした姿で立派な実を見せつけています。 春咲く準備が着々と進んでいるフデリンドウもあちこちに見られました。

ザァーという音が聞こえたので、うぅ？と見ると一陣の風と共に黄色やオレンジの落ち葉が流れていく、、、。この場所ならではのやさしい時間を気付かされました。（新井）

リュウノウギク

リンドウ

オケラ

メリケンカルカヤ

コマユミ

イロハモミジ

ゴンズイ

アズキナシ

シロダモ

クロモジ

ツチアケビ

フデリンドウ

○森林インストラクター会行事の立ち合い記

行事名：県内野外講座「千年の森と周辺の森の紅葉を楽しむ」
日時 12 月３日（土）10 時から 12 時 40 分
参加者：36 名
スタッフ： 森林インストラクター５名
千年の森：３名　（秋元　伊藤　坂本）

参加者の一行は千葉駅からバスで到着、当会の伊藤事務局長もバスに同乗し、車内で島の概要などは説明済みの上、植物については知識豊かな森林インストラクターが数度の下見を重ねているので、解説はお任せでした。

ある参加者が狭い島なのに少し歩いただけで落葉樹林から常緑樹林、更にモミツガ林から竹林と目まぐるしく変化する様子をまるで植物園の様だと言っていました。的を得た感想だったと思います。天候にも恵まれ、紅葉も見頃でした。（坂本）

○野鳥記録

オシドリ６　カワウ ２　トビ２+声　カワセミ声　コゲラ１+声　アカゲラ１　カケス声　ハシボソガラス声　ハシブトガラス声ヤマガラ声　シジュウカラ声　ヒヨドリ声　ウグイス声　エナガ 10+声　メジロ２+声　シロハラ？声　ジョウビタキ？声　カワラヒワ 30±　ウソ声　以上 19 種

シロハラはアカハラの声と聞き分けられないので疑問符つき、同様にジョウビタキの声かルリビタキの声かも明確には分かりません。トビの古巣を森林インストラクター会に見てもらっている時に頭上で口笛のようなウソの声がしていました。「上にウソがいるようだ」と言いましたが、ご一行は鳥に感心が無いのか見上げる人はいませんでした。嘘だと思ったのでしょうか。（坂本）

○センサーカメラの画像

11 月 24 日の記録的に早い初雪の日にアナグマが写っていました。橋の上には数センチの積雪があった模様です。

別の日にタヌキ、テン、シカの画像もありましたが、不鮮明でした。珍しくキジバトの画像もありました。（坂本）

アナグマ（11 月　24 日）

キジバト（11 月 13 日）

お知らせ

○1 月 22 日の活動日（第４日曜日）

９時 30 分　君津市清和自然休養村管理センター集合。森林整備（ホテイ岬）植物・野鳥調査など。

○2-3 月の活動日

２月 19 日（日）光環境調査（落葉期）、植物・野鳥調査、森林整備（ホテイ岬など）
３月 19 日（日）二ホンジカ調査、ヒメコマツ生長調査、きのこ原木玉切り・植菌、植物・野鳥調査など
いずれも９時３０分君津市清和自然休養村管理センター集合。